

多くの人に消防団のことを知ってもらいたい



とがし えいこ
富樫 英子さん

平成21年に幌西分団へ入団。普段は特別養護老人ホームで勤務しながら、消防団の活動を続けています。

入団したきっかけを教えてください

日ごろから「地域のために何か役に立てることはないだろうか」と考えていました。そんな時消防団の存在を知り、今のうちにたくさんの知識を身に付け、できるだけ多くの人に伝えたいという思いを強く感じてすぐに入団を決意しました。

日々の活動から何を感じますか

いざというときに人の役に立てるとするのは魅力的なことですし、普段の仕事も含めて意欲が高まるような気がします。活動を通じて、団員や地域の方と関わりを持つことも大きな刺激になっています。

今後の活動について聞かせてください

もっと幅広い年代に防災についての興味を持ってもらえるような工夫をしていきたいです。少年消防クラブとの交流や親子で参加できるイベントの開催など、啓発活動には特に力を入れていきたいですね。



▲富樫さんの所属する幌西分団を中心とした消防団の仲間たち



▲住民への応急手当指導のため地道な訓練を続けています



さいとう まちこ
斉藤 眞智子さん

今も変わらぬ地域への声掛けと見守り

全国で火災により亡くなる人の半数以上が65歳以上の高齢者です。しかし、日ごろから防火への心掛けをしておくことで、未然に防げる火災が多いことも事実です。そこで、消防団では高齢者世帯を中心に住宅防火訪問を行い、火災警報器の普及活動や火元となりやすいこんろやストーブの取り扱いについて注意を促すなど、防火意識の向上を図っています。この日訪問を受けた斉藤さんは、「消防団にはお互い顔を知っている人もいて、来てもらうだけで安心しますね。防火について見直すよいきっかけになります。これからも地域を回って、一人暮らしの高齢者や交流の薄い世帯に声を掛けてほしいです」と話していました。

あなたの熱意とチカラを『今』消防団に!

中央消防団の役割とは

中央区は、都市機能と山河が共生する特性のある地域であり、建物火災、山火事や風水害などあらゆる災害が想定されます。このような災害が起こった時、自分が暮らしている地域の地形や道路などを把握している消防団だからこそすぐに駆け付け、住民の避難誘導など被害を最小限にとどめるための活動を行うことができます。

消防団の活動にご協力ください

私たち消防団員の多くが、普段自分たちの仕事を持ちながら「いざ」というときに備え、さまざまな活動を続けています。中央消防団ではこれからも区民の安全を確保し、安心を届けるため、あなたの熱意と力を「今」必要としています。地域防災のリーダーであるという誇りを胸に、私たちと一緒に自分たちのまちを守りましょう。



おおいしばし じゅんぞう
大石橋 順三 中央消防団長

消防団員を募集しています

記事の内容および消防団についてのお問い合わせ先
中央消防署予防課 ☎215-2120

